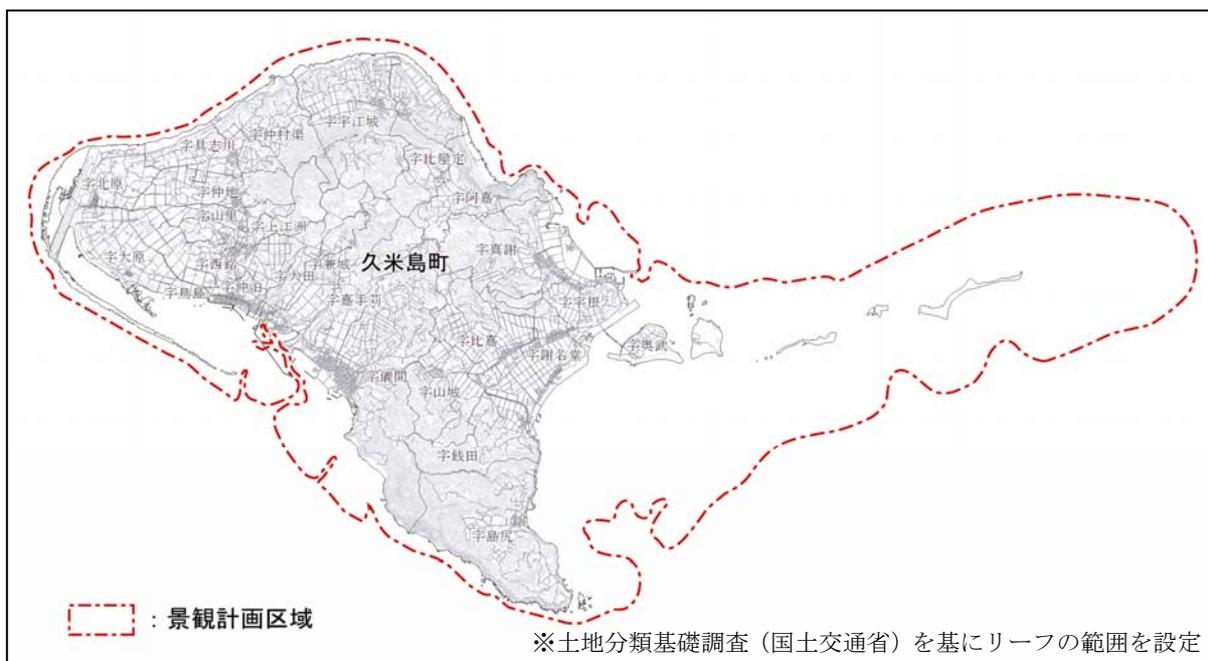


第Ⅱ章 景観形成に関する方針

1. 景観計画区域の指定

本町においては、各地域にみられる多種多様な景観要素の保全、創出を図るため、景観法に基づく景観計画区域を本町全域とし、リーフも含むものとします。



リーフの定義

土地分類基礎調査（国土交通省）において、「Rf：サンゴ礁原（干瀬）」「Rm：サンゴ礁原（イノー礁池※）」「Rs：礁斜面」に分類されている区域をリーフの範囲として設定している。

2. 景観計画区域における良好な景観形成に関する方針

(1) 景観形成の将来像

第一次久米島町総合計画で挙げられている 5 つのしまづくりの目標の中でも次の目標について整合を図り、景観形成の将来像を設定する。

- 『ホテル飛び交う豊麗のしま』を景観づくりで実現するために、施策の展開方針である「島の豊かな自然環境の保全」に向け、クメジマボタルやキクザトサワヘビをはじめとする希少動植物が棲息する水辺環境や、変化にとんだ美しい海岸等の自然景観を保全します。また、本町には宇江城岳、アーラ岳、登武那覇城跡等の島全体を見渡すことが可能な眺望点があり、それらの眺望点からは久米島町のダイナミックな景観を望むことが出来ます。それらの景勝地もまた周辺の自然と併せて保全します。
- 『活力みなぎる創業のしま』の展開方針である「くらしの立つ農業地域づくり」と併せて、サトウキビ畑や、かつて米の生産が盛んであった面影を残す棚田等の良好な農地景観を保全・創出します。また、豊かな自然環境、伝統的集落景観を、島の観光資源として保全・活用し、良好な景観形成を図ります。
- 『安らぎに満ちた健やかなしま』というしまづくりの目標においては、「快適な住環境の創出」へ向け、景観や植栽など落ちついた佇まいの集落内の住環境を保ち、しまの豊かさを醸し出す空間を形成します。
- 『薫り立つ文化をつくるしま』づくりを目指し、瓦屋根の住宅やフクギの屋敷林など伝統的な集落景観の保全や、歴史的・文化的な風景を守り、育て、島全体で魅力ある景観形成を図ります。

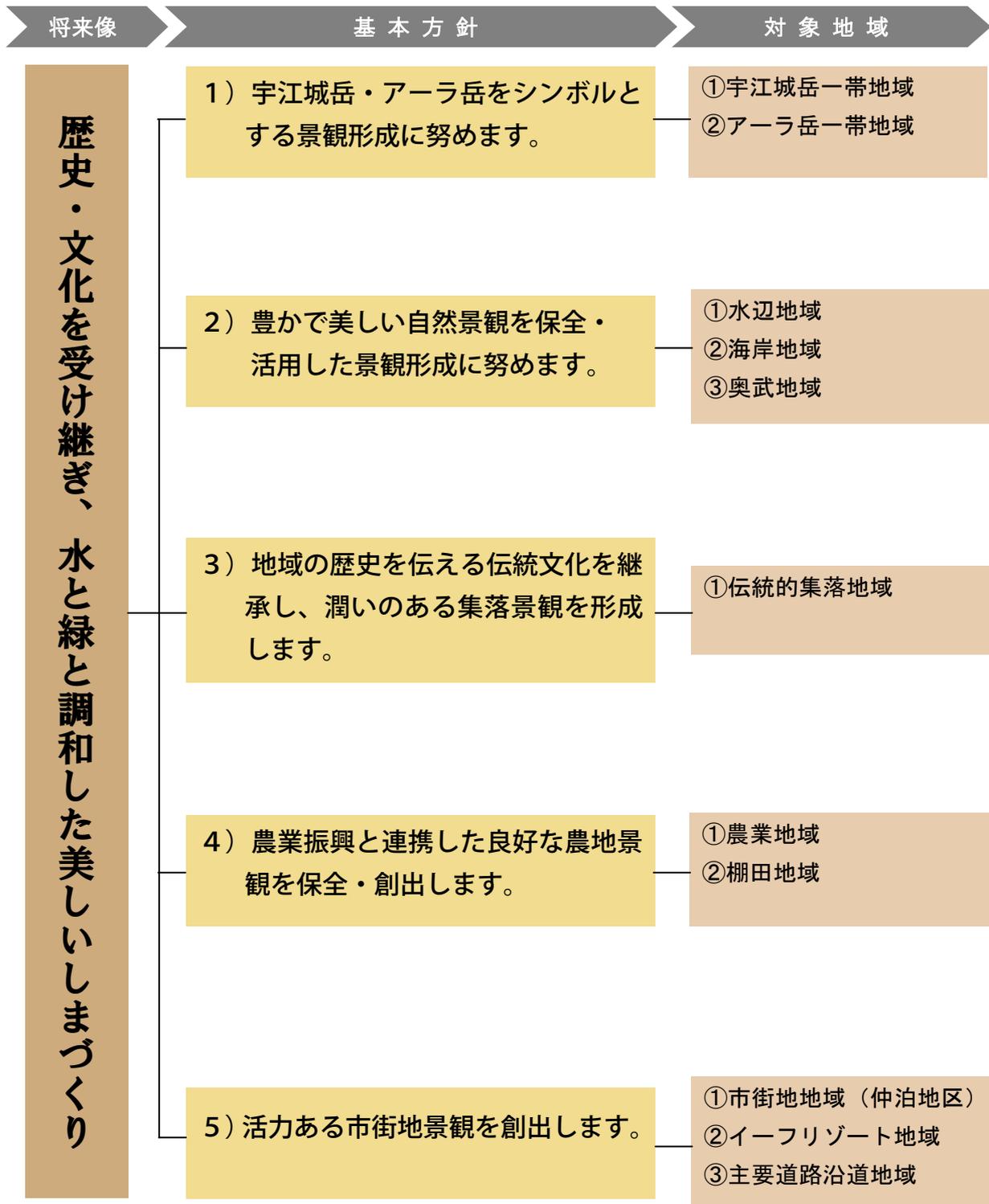
以上を踏まえ、本町の景観形成に関する将来像を以下のように定める。

歴史・文化を受け継ぎ、水と緑と調和した美しいしまづくり

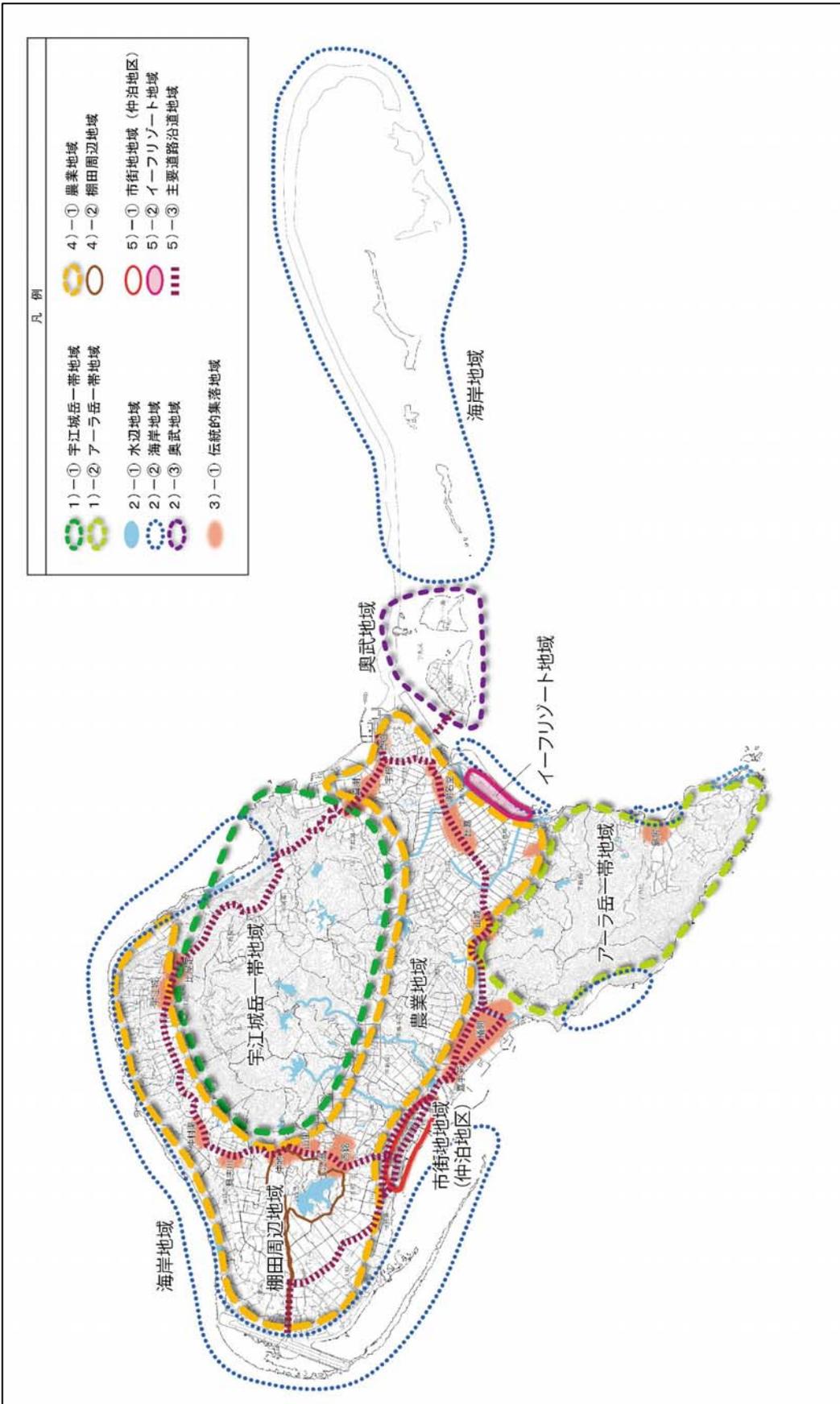


(2) 景観形成の基本方針

地域の個性を活かした良好な景観づくりに向けて、5つの基本方針を柱とし、各地域の景観形成の方針を定めます。



■ 景観形成ゾーニング図



1) 宇江城岳・アール岳をシンボルとする景観形成に努めます。

①宇江城岳一帯地域

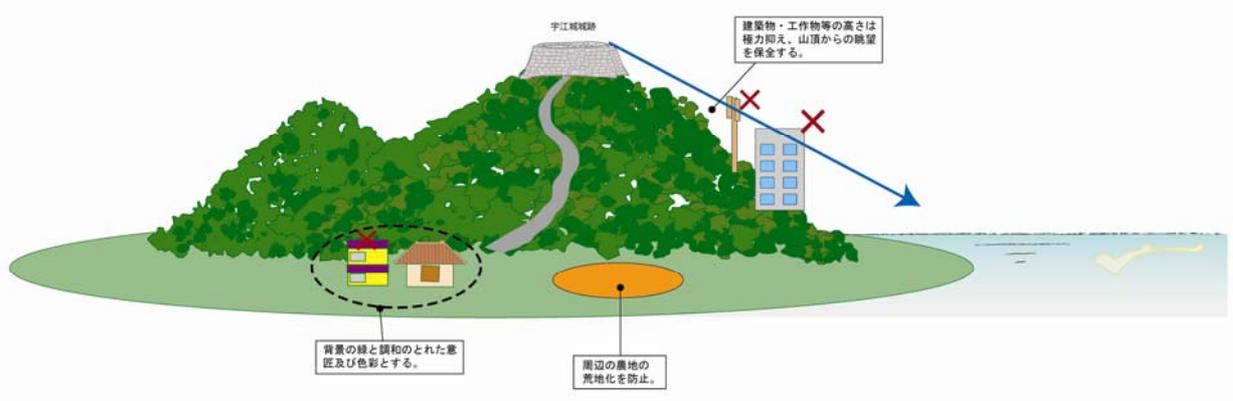
宇江城岳は、久米島で最も高い山（標高 309m）であり、山頂には沖縄県で最も高い位置にある城跡とされている宇江城岳城跡が築かれています。宇江城城跡は、島の大半を望むことが出来る良好な眺望ポイントとなっています。

これらのことを踏まえ、宇江城岳の稜線を保全するために、建築物、工作物の高さは極力抑え、地形的特徴により創出される優れた眺望を保全します。また、建築物、工作物の意匠及び色彩は背景の緑と調和した目立たないものとしします。

<配慮すべきこと>

- ・ 稜線を切らず、山稜の連なる風景を分断しないよう配慮します。
- ・ 背景の緑との調和に配慮します。
- ・ 宇江城城跡からの眺望景観を保全します。

■イメージ図



②アール岳一帯地域

アール岳は久米島南部に位置し、その一帯には周囲を山に囲まれた自然海岸のアール浜や、町指定天然記念物の「トクジム海岸と一帯の安山岩」などを有する自然豊かな地域です。

島尻の丘陵地においては、リゾート産業の誘致も検討されていることから、開発が行われる場合には、大規模なのり面が生じないようにするなど、環境保全に十分配慮します。

<配慮すべきこと>

- ・稜線を切らず、山稜の連なる風景を分断しないよう配慮します。
- ・背景の緑との調和に配慮します。
- ・アール岳一帯からの眺望景観を保全します。
- ・開発が行われる場合には、大規模なのり面が生じないように配慮します。
- ・開発の造成時における表土流出防止に努めます。



2) 豊かで美しい自然景観を保全・活用した景観形成に努めます。

①水辺地域

宇江城岳を源流域とする本町で最長の河川である白瀬川や、その他に浦地川、儀間川、謝名堂川、銭田川などの小河川があり、儀間川と謝名堂川が二級河川として指定されています。これらの代表的な河川の上流にはダム湖やため池が数多く分布しており、潤いのある景観を形成しています。

本町の清らかな河川には、久米島だけに生息する水生のホタルであるクメジマボタルが生息しています。クメジマボタルは本町を代表する貴重な生物であり、水辺環境を間接的に知ることができる指標生物の役割を持っています。これらの貴重な生物が棲み続けられる水辺環境と潤いのある水辺の景観の保全を図ります。また、水辺でクメジマボタルの群れが美しく乱舞する夜の景観を保全します。

<配慮すべきこと>

- ・ 河川の潤いを活かし、親水性のある河川空間の保全・形成に配慮します。
- ・ クメジマボタルやキクザトサワヘビなどの貴重な生物が生息している水辺空間を保全します。
- ・ 水辺周辺のリュウキュウマツや森（ムイ）等の緑を保全します。また、水辺周辺の緑は潤いある水辺の景観を引き立てるよう維持管理に努めます。



クメジマボタル、キクザトサワヘビ写真出典：久米島町の文化財（平成15年度 久米島町教育委員会）

②海岸地域

本町の沿岸部においては、良好な自然海岸が島を取り囲み、海岸の形態は砂浜や隆起サンゴ礁の地形による荒々しい海岸など、表情豊かで変化に富んだ海岸の景観を有しています。御神崎まで約12kmにわたって伸びる干瀬や砂浜だけの島であるはての浜などは、他の地域では見られない特徴的な景観となっており、これらは自然のままの地形を保全することが重要です。

また、イーブビーチやシンリ浜などの観光客や地元住民から親しまれているビーチでは、リゾート地域として、自然と調和した景観形成を目指します。

したがって、海岸地域においては、良好な自然環境の保全に努め、建築物等はできるだけ海岸付近には建てないよう高さ、配置、色彩に配慮するよう努めます。

<配慮すべきこと>

- ・表情の変化する美しい自然海岸は積極的に保全を図ります。
- ・海域に広がる干瀬・イノーを保全します。
- ・海や海岸への見晴らしを保全するため、建築物等はできるだけ海岸付近には建てないよう高さ及び配置に配慮します。
- ・防風防潮林の保全育成に努めます。
- ・定期的に漂着ゴミの除去に努め、美しい海岸線の保全を促進します。



③奥武地域

海洋深層水を活用した温浴施設として「バーデハウス久米島」の開所により、健康に関心のある様々な年齢層の町民及び観光客が訪れています。また、奥武島の南側の海岸には県指定天然記念物の畳石が広がっており、五角形や六角形の岩が敷き詰められたような畳石と海岸が独特の景観を形成しています。

当該地域においては、美しい自然海岸を保全し、自然環境と調和した景観形成を図ります。また、小規模な島しょ景観と調和した農地の保全に努めます。

<配慮すべきこと>

- ・ 建築物は周囲と調和した高さや規模とし、海への眺望を阻害しないよう配慮します。
- ・ 特徴的な地形である畳石と自然海岸の保全に努めます。
- ・ 小規模な島しょ景観と調和した農地の保全に努めます。



3) 地域の歴史を伝える伝統文化を継承し、潤いのある集落景観を形成します。

①伝統的集落地域

本町には、フクギの屋敷林や瓦屋根住宅が残っており、真謝の集落では各家庭で染色した久米島紬の糸を干す風景など、伝統的な集落景観を見ることができます。これらの集落景観は、古くから受け継がれてきた景観であり、今後も受け継いでいくべきものです。しかし、近年、人口減少と高齢化の進行により、フクギ並木の減少や手入れがされず瓦屋根が落ちている空き家等も見受けられ、伝統的な集落景観の保全ための対策が必要です。

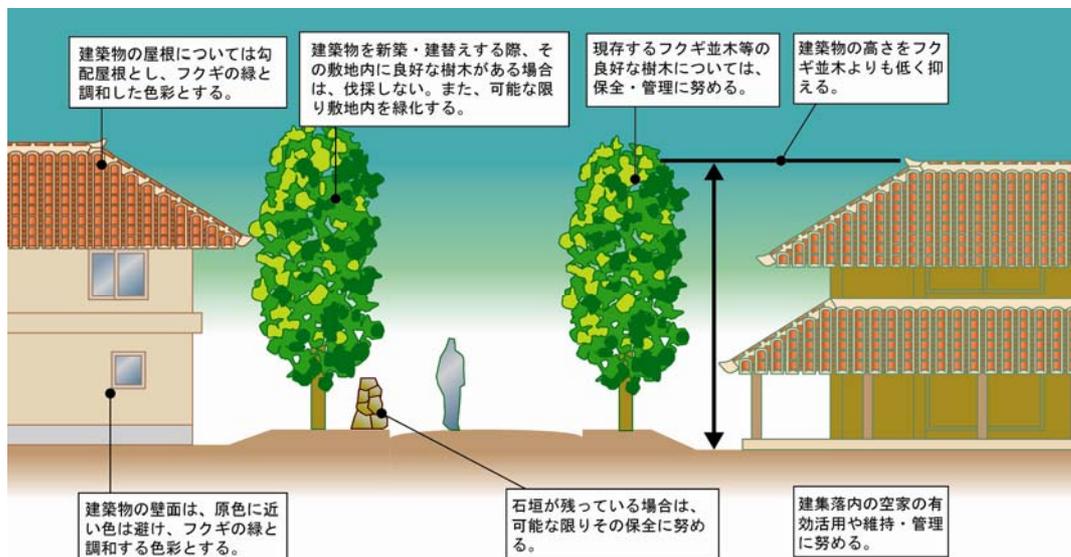
これらのことを踏まえ、本地域においては、フクギ並木や生垣、瓦屋根住宅等を重要な景観要素として保全していくとともに、新たな建築物や工作物を建設する場合においては、周辺の土地利用状況や建築の形態意匠、屋敷林等の配置を考慮し、集落の一部として調和するよう配慮します。

また、各集落に受け継がれてきた伝統行事や祭祀行事等の文化的景観を保全し、それらがとり行われる空間は、その周辺も含めて保全します。

<配慮すべきこと>

- ・瓦屋根住宅のある伝統的集落景観の保全・修景に努めます。
- ・フクギの保全・修景に関する基本方針を検討し、地域住民の協力のもと、適切な集落景観形成を図ります。
- ・生垣を中心とした垣・柵の高さや構造等のあり方について方針を定めます。
- ・地域に残る御嶽や拝所など、集落における歴史・文化的景観資源を保全します。
- ・歴史的建造物や祭事がとり行われる空間の保全を図ります。
- ・現在も伝承される神事にまつわる森（ムイ）や道を保全します。
- ・久米島紬の糸を干す風景等の歴史と文化を感じさせる景観を保全します。
- ・角力大会やハーリーなどの祭りの景観を保全します。
- ・基盤の目状に形成されている集落構造、その集落内に存在する独特の辻等が織りなす景観の保全・修景を図ります。

■イメージ図



4) 農業振興と連携した良好な農地景観を保全・創出します。

①農業地域

農地は、町土の31.6%を占めており、本町の景観形成に与える影響は大きいと考えられます。農業は本町の基幹産業ですが、近年、産業全体に占める割合が大きく低下しており、耕作放棄地の増加等により好ましくない景観も見られます。

したがって、農業振興と連携し、農地の有効利用を図ることで、農地と周辺の緑が一体となった緑豊かな農地景観の保全・創出に努めます。

また、本町では、国の赤土流出対策事業を導入し、赤土流出対策に努めています。傾斜畑等における赤土流出対策板の設置や農家への啓蒙活動により、ある程度の改善は見られますが、農地によっては赤土等の流出対策が不十分であり、大雨により赤土流出が発生し、海に流れる状況も見られます。豊かで美しい海の景観を守るためにも、今後も赤土流出対策に努め、緑豊かな景観形成を図ります。

<配慮すべきこと>

- ・久米島らしい広がりのある「農」のある景観の保全に努めます。
- ・地域の地形を活かした田園景観の保全・創出を図ります。
- ・サトウキビ畑と拝所のある森（ムイ）の調和を図ります。
- ・農地の有効利用、耕作放棄地の解消に努めます。
- ・赤土流出対策に努めます。



②棚田周辺地域

久米島は、かつては恵まれた地形を活かし、米の生産が盛んに行われていましたが、国の減反政策が行われた影響もあり、米の生産はほとんど行われなくなってきました。字仲地に残る棚田の景観は、かつて稲作が盛んであったことを感じさせる本町独自の郷愁誘う風景のひとつとなっています。このことを踏まえ、字仲地に残る棚田を保全し、周辺の集落は棚田の景観と調和するよう落ち着いた景観の形成に努めます。

カンジンダムでは、クメジマボタル生息地の整備や河川水質浄化を、棚田の再現により実施しており、環境共生空間づくりが新たな久米島らしい景観を形成しつつあります。そのため、周辺のリュウキュウマツの大木等を保全し、緑豊かな潤いある景観を保全・創出します。

<配慮すべきこと>

- ・棚田の景観を保全・創出します。
- ・周辺のリュウキュウマツの森等を保全し、緑豊かな潤いある景観を保全・創出します。
- ・集落においては、周辺の農地の景観と調和するよう、建物の色彩や素材に配慮します。
- ・集落から望む農地の景観を保全します。
- ・生物と一体となった水辺環境を保全し、生物の多様性の確保を図ります。



5) 活力ある市街地景観を創出します。

①市街地地域（仲泊地区）

中央通り及び新興通り周辺は、人口密度が高く、商店街や各種店舗が集積し、本町で唯一市街地的な景観が形成されている地区です。中央通り及び新興通り沿道の店舗・住宅の前面をプランターの設置等により緑化し、潤いある市街地景観の形成を目指します。また、色彩やデザイン、規模が周囲から突出している建築物の修景を図ります。

兼城港においては、本町の海の玄関口として中央通り、新興通りの市街地の一体となった潤いと活力のある景観形成に努めます。

<配慮すべきこと>

- ・沿道に花木を植栽することにより、潤いある市街地景観の形成に努めます。
- ・建築物の色彩やデザイン、規模は周囲と調和するよう配慮します。
- ・店舗の壁面、看板、サインの定期的な修復、空き店舗、未利用地の修景を推進します。
- ・港湾施設及びその周辺においては、交流施設として建築物等の形態意匠に配慮します。



②イーフリゾート地域

イーフリゾート地域は、イーフビーチを中心にリゾートホテルや民宿、飲食店等が集積している地域です。当該地域においては、本町を代表する観光エリアとしての気品ある景観形成を図ります。イーフビーチ周辺を歩いて回る観光客も多いため、沿道には、ハイビスカス等の南国らしさを感じさせる植物を植栽し、リゾート空間を創出します。

また、建築物は周囲と調和した高さや規模とし、道路と一体となった空間形成に努めます。

<配慮すべきこと>

- ・ 建築物は周囲と調和した高さや規模とし、道路と一体となった空間形成に努めます。
- ・ 建築物の壁面の色彩は、淡い色を使用し、イーフビーチの白い砂浜と調和するよう配慮します。
- ・ ハイビスカス等の南国らしさを感じさせる植物を植栽し、リゾート空間を演出します。
- ・ 建築物の高さは、海への眺望を阻害しないよう配慮します。



③主要道路沿道地域

主要道路の道路空間においては、緑量豊かで風情のある松並木が独特の景観を形成しています。これらの松並木を保全するとともに、本町のイメージに適した花や緑を植栽し、島を訪れる観光客や地元住民が楽しめるような道路空間として景観形成を図ります。さらに、本町のイメージに適した街路灯やガードレール等のデザインを検討し、周辺環境と調和した建築物や屋外広告物※により、気品ある景観形成を目指します。

県指定の天然記念物である真謝のチュラフクギ周辺など、重要な地域においては、無電柱化の促進を図ります。

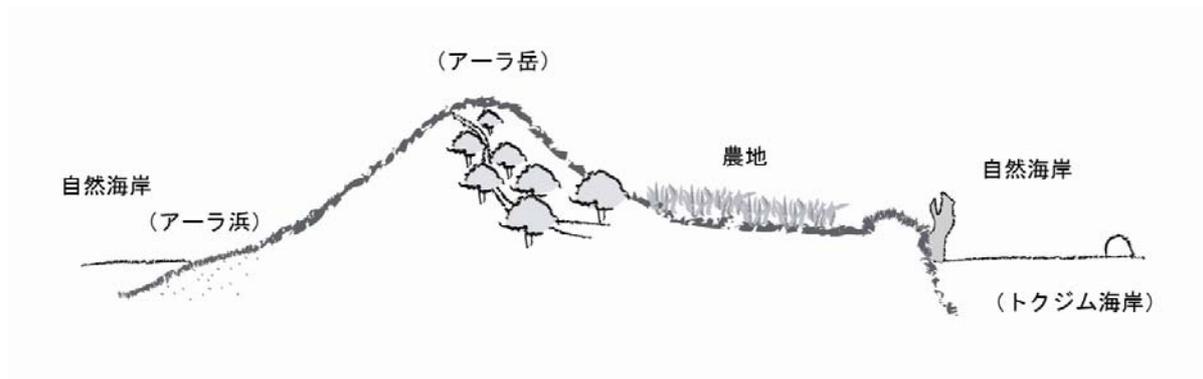
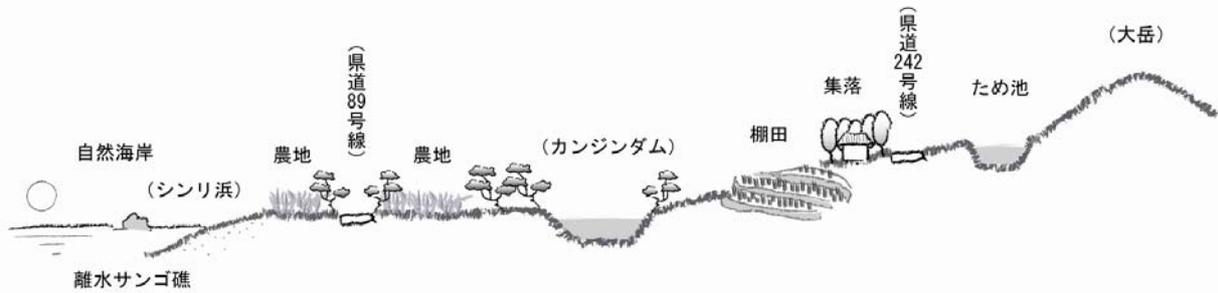
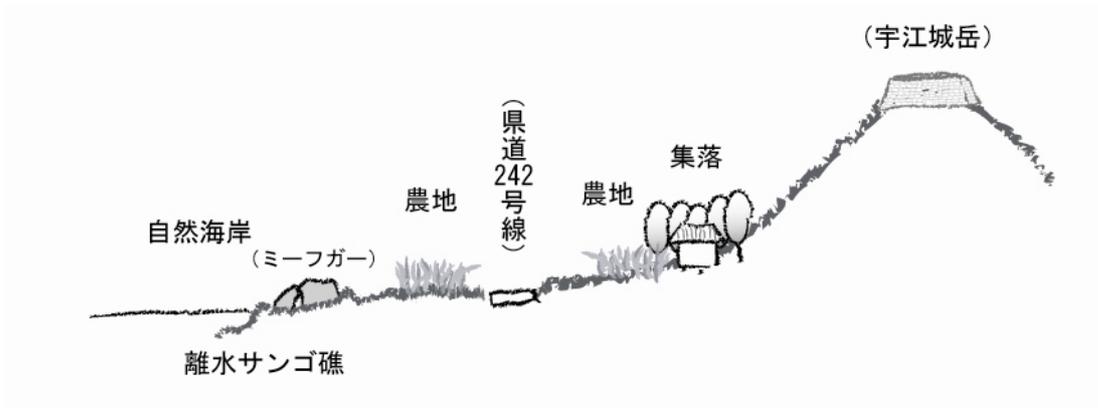
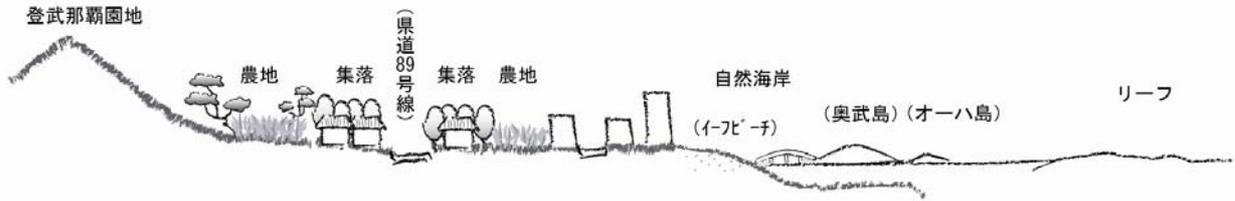
また、久米島一奥武島間の海中道路からは、両側に広がる美しい海を望むことができます。このように見通しの良い道路からの眺望の確保に努めます。

<配慮すべきこと>

- ・本町を特徴づける松並木やフクギ並木の保全・育成に努めます。
- ・主要道路における街路樹については、周辺環境との調和について十分に検討し、植栽後はその維持管理を徹底します。
- ・本町のイメージに適した花や緑を植栽し、賑わいを感じさせる空間を形成するよう努めます。
- ・沿道植栽の維持管理については、地域住民の協力を得ながら景観形成を進めます。
- ・本町のイメージに適した街路灯やガードレール等のデザインを検討します。
- ・沿道の屋外広告物は、その規模や色彩において周辺環境に配慮します。
- ・廃材等の堆積が見られる土地は、沿道から堆積物が見えないようにするなど、修景に努めます。



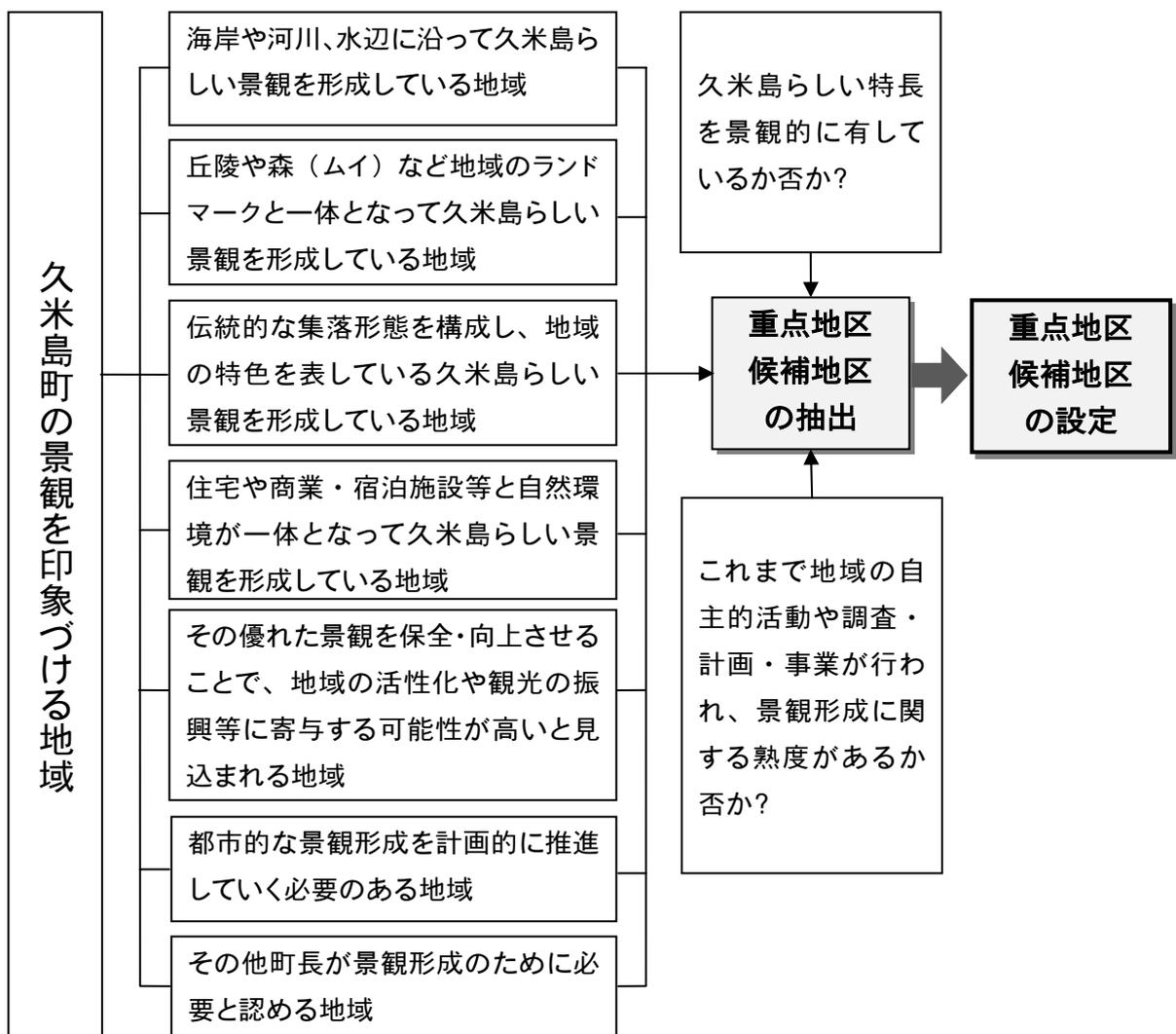
■ 景観領域イメージ



3. 景観形成重点地区

景観計画の施行後、景観づくりに関して一定の成果が現われるには、行政と町民及び事業者が一体となって継続的な取り組みが実施され、永い年月がかかるものと考えられます。景観行政を実施する上では、重点的に取り組むエリアを設定することが効果的であると考えられます。また、景観形成に関し具体的な取り組みを推進しながら地域住民の理解と協力、意識の醸成が図られたと判断できた場合は、準景観地区*の指定など、次のステップへの移行を検討します。

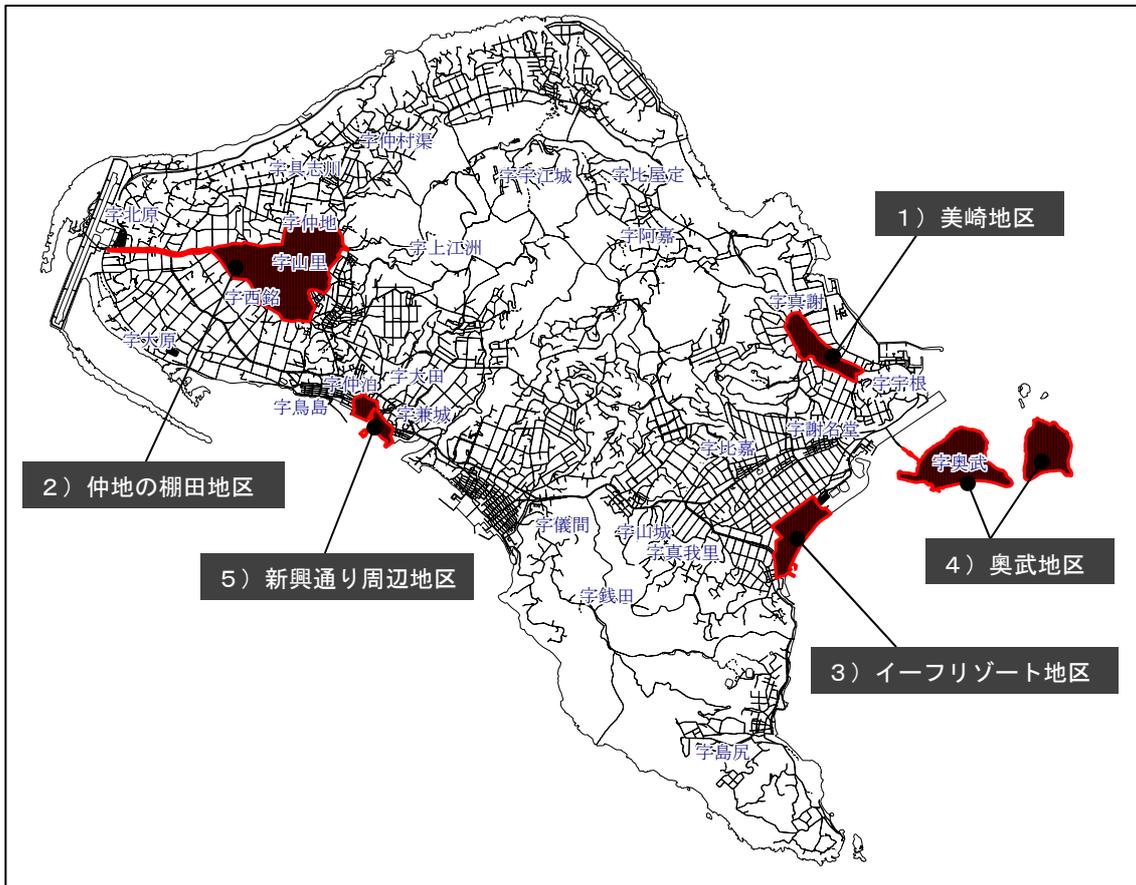
【重点地区の選定・抽出フロー】



(1) 景観形成重点地区の景観形成方針

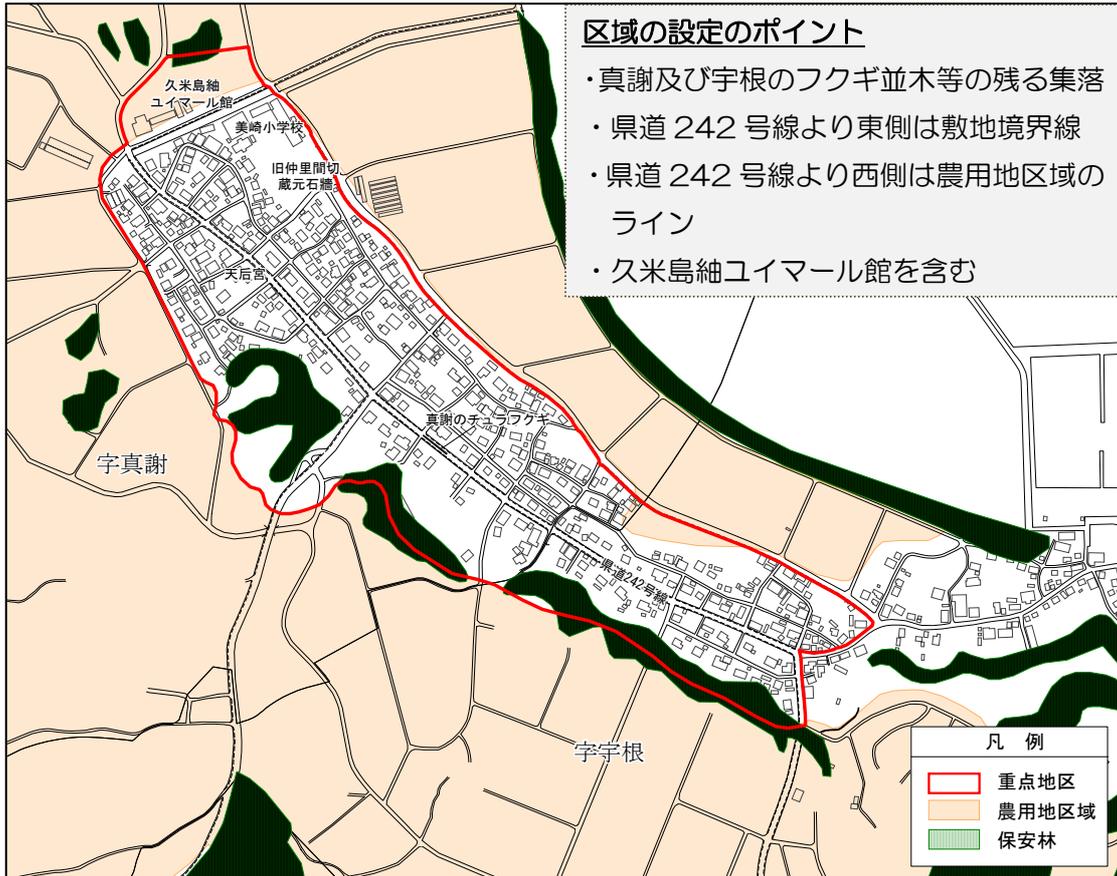
重点地区の選定・抽出フローに基づき、抽出される重点地区を下記に挙げ、重点地区として位置づけます。これらの地区は、久米島町らしい良好な景観の形成や保全に向けて、より重点的に取り組むべき地区であると考えられ、地区の景観特性に合わせてそれぞれ、景観形成基準を制定する必要があります。また、下記以外の地区は一般地区とします。

- 1) 美崎地区
- 2) 仲地の棚田地区
- 3) イーフリゾート地区
- 4) 奥武地区
- 5) 新興通り周辺地区

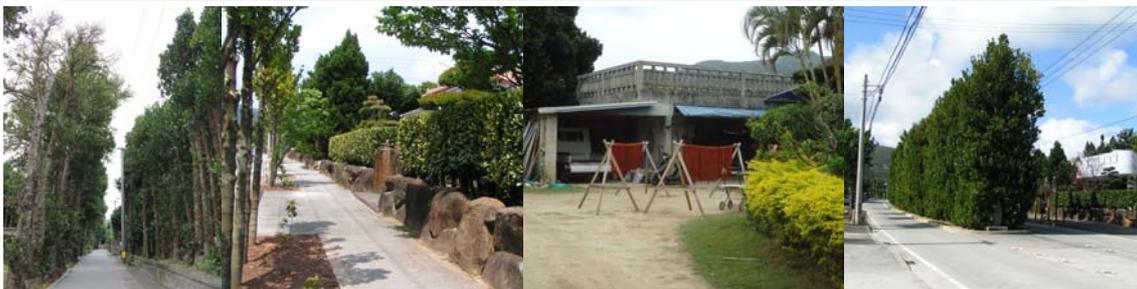


1) 美崎地区

美崎地区は、フクギの屋敷林や瓦屋根住宅が多く残っており、各家庭で染色した久米島紬の糸を干す風景など、伝統的な集落景観がまとまりを持って形成されている地区です。これらの集落景観は、古くから受け継がれてきた景観であり、今後も受け継いでいくべき貴重な景観です。当該地区においては、本町の伝統的集落景観を代表する地区として、重点的に景観形成を図ります。



- ①豊かなフクギの屋敷林や生垣の保全・修景に努めます。
- ②フクギや生垣の剪定などに関する方針を定めます。
- ③瓦屋根のある伝統的集落景観の保全・修景に努めます。
- ④地域に残る御嶽や拝所など、集落における歴史・文化的景観資源を保全します。
- ⑤歴史的建造物や祭事がとり行われる空間の保全を図ります。
- ⑥久米島紬の糸を干す風景等の歴史と文化を感じさせる景観を保全します。
- ⑦地域に伝統的に伝わる祭りの景観を保全します。

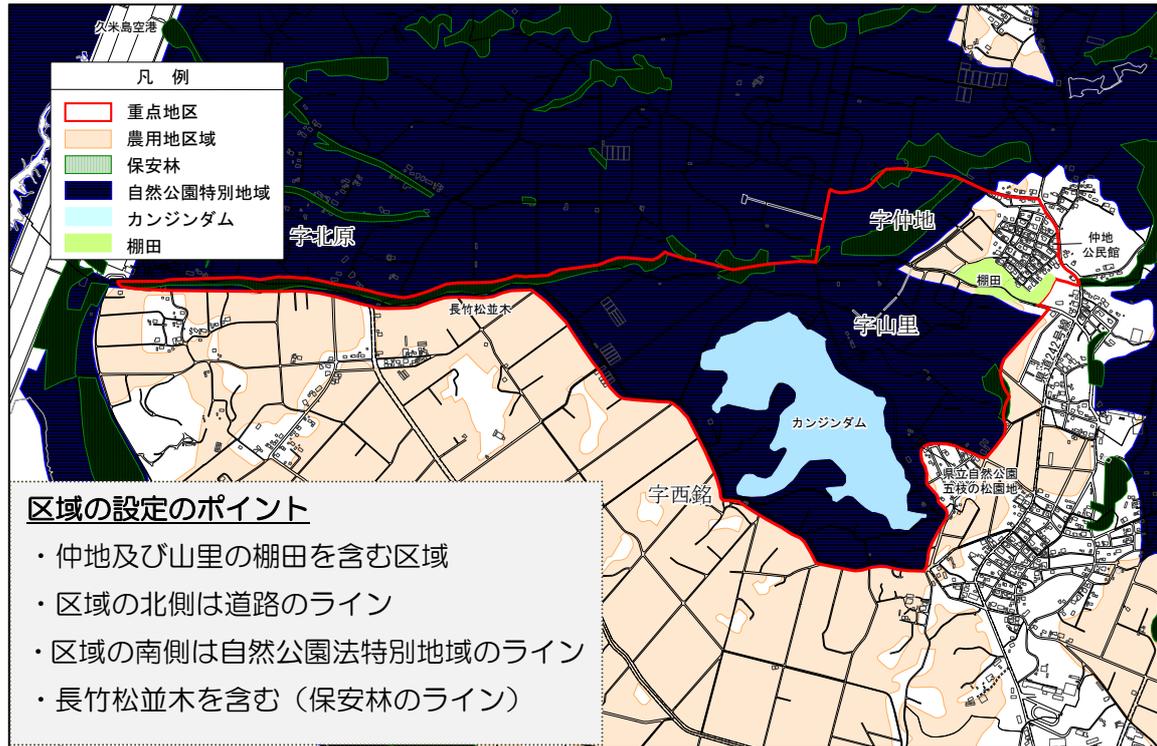


2) 仲地の棚田地区

棚田の景観は、久米島が、かつて稲作が盛んであったことを感じさせる、本町独自の郷愁誘う風景のひとつとなっています。このことを踏まえ、字仲地に残る棚田を保全し、周辺の集落は棚田の景観と調和するよう落ち着いたある景観の形成に努めます。

農地と集落が織りなす農村景観として、仲地の棚田及びカンジンドム、さらに長竹松並木を含めた区域を重点地区として位置づけます。

また、当該地区においては、景観農業振興地域整備計画*の策定を検討します。



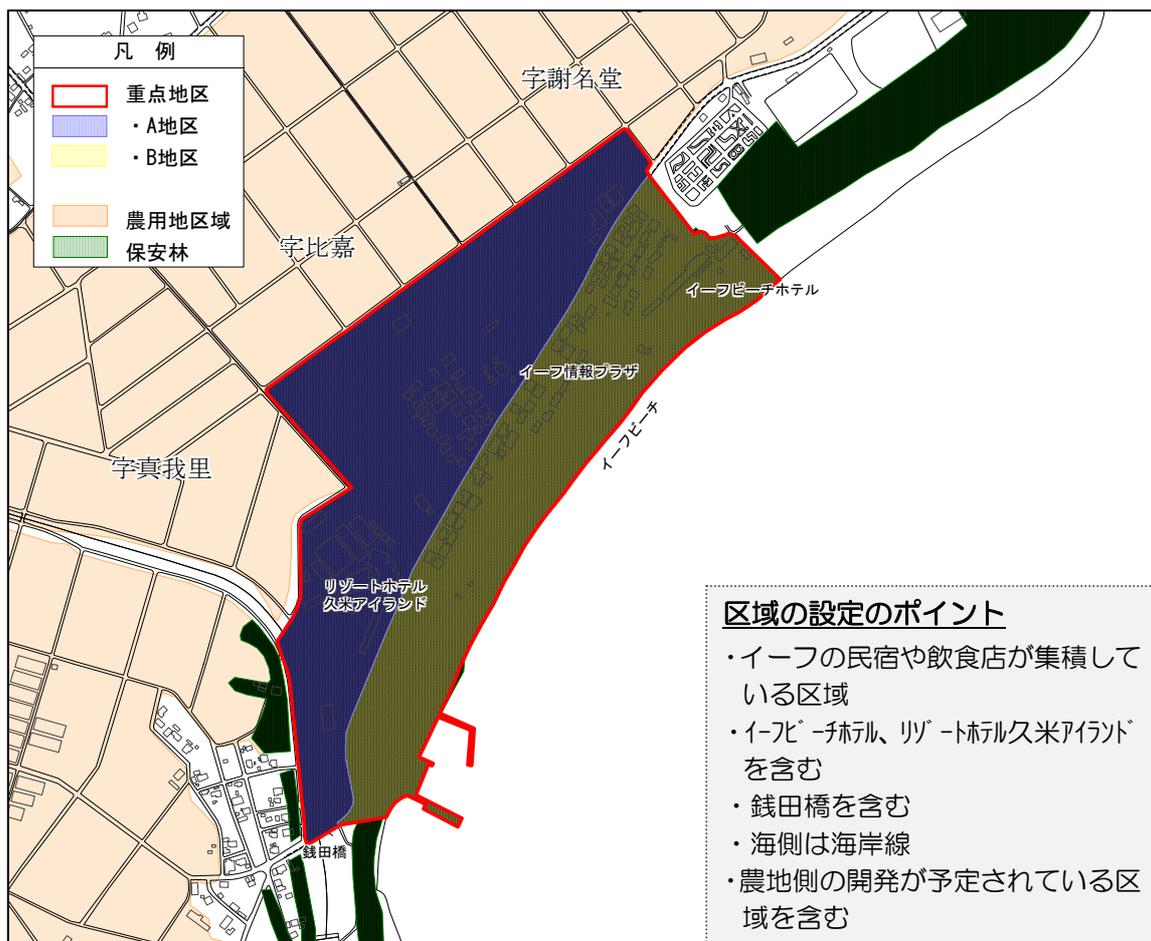
- ① 棚田の景観を保全・創出します。
- ② 棚田の維持・保全に関する幅広い方策を地域住民とともに検討します。
- ③ 周辺のリュウキュウマツの森等を保全し、緑豊かな潤いある景観を保全・創出します。
- ④ 集落においては、周辺の農地の景観と調和するよう、建物の色彩や素材に配慮します。
- ⑤ 集落から望む農地の景観を保全します。
- ⑥ 水辺環境を保全し、生物の多様性を保持する景観形成に努めます。



3) イーフリゾート地区

イーフリゾート地区は、民宿や飲食店が集積している地区であり、イーフビーチを中心に本町を代表する観光エリアとして重点地区に位置付け、気品あるリゾート地としての景観形成を図ります。地区内を歩いて回る観光客も多いため、沿道には、ハイビスカス等の南国らしさを感じさせる植物を植栽し、リゾート空間を創出します。

また、建築物は大規模とせず、道路と一体となった空間形成に努めます。



- ① 建築物は周囲と調和した高さや規模とし、道路と一体となった空間形成に努めます。
- ② 建築物の壁面の色彩は、淡い色を使用し、イーフビーチの白い砂浜と調和するよう配慮します。
- ③ 敷地や沿道には、ハイビスカス等の南国らしさを感じさせる植物を植栽し、リゾート空間を演出します。
- ④ 建築物の高さは、海への眺望を阻害しないよう配慮します。



4) 奥武地区

奥武地区は、バーデハウス久米島、久米島ウミガメ館などの観光施設が立地し、美しい自然海岸を有する地区です。今後、リゾート地区として観光施設等の建設も想定されることから、自然環境と調和し、規模に合った景観形成を図る地区として、重点地区に位置づけられます。

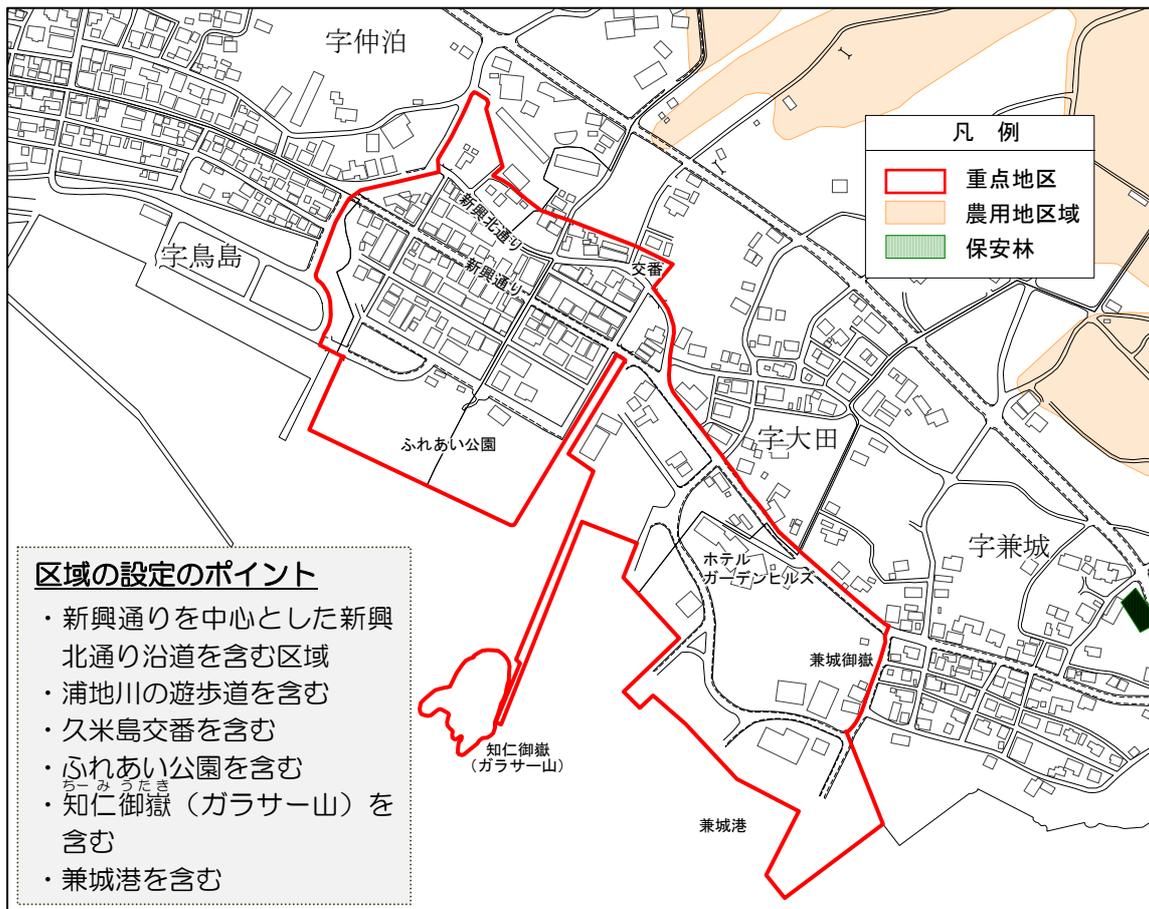


- ①建築物は周囲と調和した高さや規模とし、海への眺望を阻害しないよう配慮します。
- ②特徴的な地形である畳石と自然海岸の保全に努めます。
- ③小規模な島しょ景観と調和した農地の保全に努めます。



5) 新興通り周辺地区

新興通り周辺地区は、商店街や各種店舗が集積し、本町で唯一市街地的な景観が形成されている地区です。今後、新興通りの停車スペースを確保するために道路改築も検討されていることから、本町にふさわしい市街地景観を図る地区として、重点地区に位置づけます。新興通り沿道の店舗・住宅の前面をプランターの設置等により緑化し、潤いある市街地景観の形成を目指します。また、色彩やデザイン、規模は周囲の建築物と調和するよう配慮します。



- ①沿道に花木を植栽することにより、潤いある市街地景観の形成に努めます。
- ②建築物の色彩やデザイン、規模は周囲と調和するよう配慮します。
- ③店舗の壁面、看板、サインの定期的な修復、空き店舗、未利用地の修景を推進します。
- ④無電柱化を促進します。



(2) その他の重点地区候補

その他、選定・抽出フロー案に基づき、重点地区の候補となると考えられる地区を以下に挙げます。

○宇江城岳周辺地区

宇江城岳は、その頂を本町の至る場所から眺めることができるシンボルとして捉えられます。また、宇江城岳の頂上に築かれた宇江城城跡からは、本町の大半を望むことができる重要な眺望点でもあることから、その眺望景観の保全及び山並みの景観に配慮した工作物等の築造の検討が必要です。



【宇江城岳】

○海岸地区

本町は、表情豊かで変化に富んだ海岸線を数多く有しています。沿岸部においては、良好な自然景観の保全及び海岸付近における建築物の規制等が求められます。



【アール浜】

○中央通り地区

人口密度が高く、商店街や各種店舗が集積し、市街地的な景観が形成されている地区です。今後は計画的な都市的景観形成が求められます。



【中央通りの市街地】

○久米島空港周辺地区

久米島空港は、空路で久米島を訪れる観光客が一番最初に降り立つ場所であり、久米島を印象付ける重要な施設のひとつです。今後は、観光振興の側面からも空港及び空港周辺の景観形成が重要です。



【久米島空港】